

- ② 喬木村協事業計画・予算/能登半島地震災害義援金、寄付の報告とお礼
- ③ 喬木村社協事業内容
- ④ だれでもランチ会/地域で子どもを支える学習会開催  
おたすけ隊たかぎレンジャー活躍中
- ⑤ たかぎボランティア・地域活動情報誌さくみち
- ⑥ お知らせ/4か月の予定/職員の一言

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619  
Eメールアドレスtakagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表) ホームページアドレス <http://takagi-syakyo.com/>  
●印刷● 龍共印刷株式会社



## 春休み宿題会★開催



3月22日(金)にみんなの広場アスポで、小学生のお子さんを対象に宿題会を行いました。この催しは、宿題を通して高校生や地域の大人との多世代交流を行うことや、地域の方たちの活躍・生きがいの場を提供することを目的にしたものです。

参加者は1年生から5年生までの14名が集まり、宿題会の見守りとして、大人ボランティア2名と高校生ボランティア2名が入りました。

皆の顔が見られるように、席の配置を大きな丸のような形にしたことで、学校や塾とはどこか違う和やかな雰囲気それぞれの宿題に取り組んでいました。

「最初はどんな風に言葉をかければいいのか分からなかった」と戸惑いのあった高校生ボランティアも「子どもさんが声を出してくれて自然に教えてあげられたことが、うれしい経験になった」と話してくれました。

宿題を終えた子どもたちは、地域のボランティアや高校生に笑顔でお礼を言っていた姿が印象的でした。大人も小学生も高校生にとっても、心に残る宿題会になりました。

# 令和6年度 喬木村社会福祉協議会事業計画・予算

令和6年度事業計画及び予算が去る3月7日理事会、3月28日評議員会において承認されました

社会福祉法人喬木村社会福祉協議会は「人は人で支えられ、安らぐ社会」の実現に向け、社会福祉事業と介護保険事業を通して、豊かな共同体が実現できるよう、地域共生社会形成に向けて努力してまいります。

支える側の現役世代の減少、支えられる高齢者の増加の現実と、地域福祉の課題解決に向け、共感し、価値の創造から幸せを追求できる重層的支援で、超高齢化時代の介護を「介護不幸ゼロ」を目標に信頼を得てまいります。

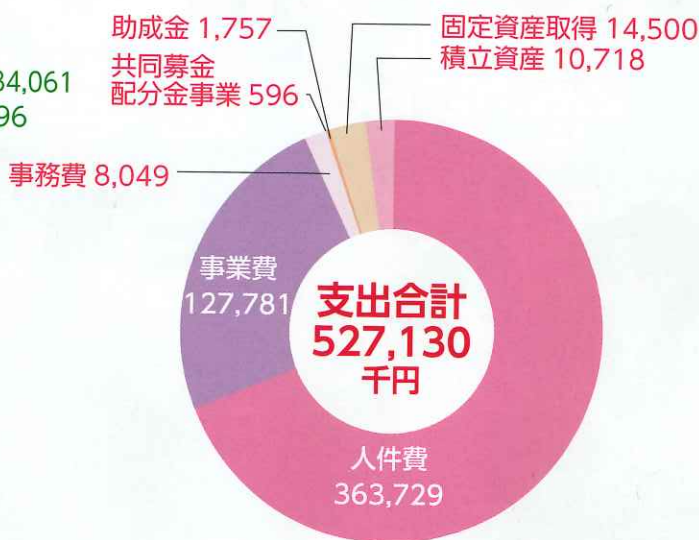
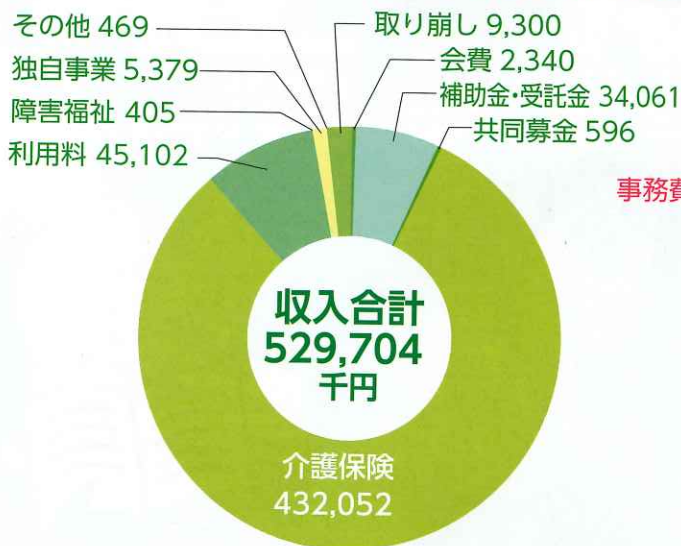
また関係者・関係団体・行政と共に、役職員全員で、自覚と責任のある行動から「美し郷」をめざします。  
喬木村社協 会長 座光寺秀元

## 基本理念

「人と人との関わり」「人とのコミュニティとの関わり」「人と自然との関わり」を大切にし、自立と共生の権利を応援する社協

## 令和6年度 喬木村社会福祉協議会予算

(単位：千円)



## 令和6年能登半島地震災害義援金の報告とお礼

令和6年1月より社協とアスポ窓口、イベント等にて住民の皆様よりお預かりいたしました義援金の報告をいたします。

**総額 201,037円 (3月末現在)**

お預かりいたしました義援金は赤い羽根共同募金会を通じて被災地へ送られました。引き続き義援金の受付を行い、被災地を応援してまいります。

## ご寄付をいただきありがとうございました。

地域の方からご寄付を届けてくださいました。大切に使用させていただきます。

- 株ふくやま……………花(胡蝶蘭) 3鉢
- 匿名……………介護用品(紙おむつ等)
- 飯田市菅沼伸子様…吸引器、リフトシート

- 匿名……………金 20,000 円
- 匿名……………金 200,000 円
- 匿名……………金 10,000 円

# 喬木村社会福祉協議会 令和 6 年度事業内容

## 在宅介護保険事業

「住み慣れた自宅で地域に暮らす馴染みの方々と、その人らしく生活を続けられるよう支援します」

- 居宅介護支援事業 (ケアマネ)
- 訪問介護事業 (ヘルパー)
- 通所介護事業  
(デイサービスふれ愛 定員 30 名)
- 地域密着型通所介護事業  
(宅老所ふれ愛 定員 10 名)
- 介護予防・日常生活自立支援総合事業
  - ・ 訪問介護及び通所介護にて受入れ
  - ・ いきいきクラブ  
(AM: 男塾: 一般地域コース)  
(PM: 入浴コース)
- 障がい者総合支援事業
  - ・ 訪問介護、行動援護支援、福祉輸送

## 施設介護保険事業「特養喬木荘」

「利用者一人一人の尊厳を守り、その人らしい生活を支え、地域の人々が安心できる福祉施設をめざします」

- 本入所 対象: 要介護 3 以上 定員 50 名
- 短期入所 対象: 要支援以上 定員 15 名

## デイサービスの活動

ひな飾り作り



みかん風呂



デイサービスでは秋は干し柿作り、冬は漬物作りやおやす作り、リンゴ風呂やみかん風呂など季節を感じていただけるような活動を行っています。3月のお雛様飾り作りでは「かわいらしい!」と皆さんにご好評をいただきました。今後もこれからの季節に向けて様々な行事を企画しています。

## 地域福祉事業

### □ 総合相談事業

- ① 住民が抱える生活課題を受け止め、地域や関係機関と連携し、解決に向けた支援を行う。
  - ・ 生活困窮者支援 (まいさぽ一次相談窓口)
  - ・ 権利擁護の推進 (日常生活自立支援事業)
- ② 地域住民と共に支え合いの仕組みや資源開発を行う。
  - ・ 子ども支援事業 (学習・生活支援事業)
  - ・ 子どもの居場所づくり支援事業
  - ・ 貸付事業 (生活福祉資金、くらしの資金)
  - ・ 生活支援事業 (喬木村おたすけ隊事務局)

### □ ボランティア

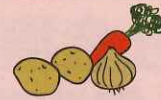
- ① ボランティアの拠点として、住民主体によるボランティアセンターの整備充実を図る
  - ・ 情報誌「さくみち」、HP、SNS、掲示板等による情報発信
- ② ボランティア活動者が主体となって、楽しみややりがいをもって活動できるよう支援する。
  - ・ 村内ボランティア活動の支援
  - ・ ボランティア育成 (中学生サマーチャレンジボランティア実施、ボランティア講座の実施)
- ③ 地域住民同士がつながり、支え合える地域づくりを推進する。
  - ・ 福祉教育の推進 (小中学校への福祉学習の出張授業や住民向け学習会の開催)
  - ・ 認知症予防事業 (サロン活動支援、認知症カフェ支援、認知症サポーター養成講座開催)
  - ・ 生活支援・介護予防サポーター養成講座 (新規事業)
  - ・ 各種福祉団体等事務局 (結婚相談員会、高齢者クラブ連合会、身体障がい者福祉協会、遺族会他)
  - ・ 訪問理美容、寝具乾燥サービス
  - ・ 配食サービス
  - ・ 福祉用具、福祉車両貸出サービス
- ④ 災害ボランティアセンター機能の充実を図り、防災減災への取り組みを進める。
  - ・ 災害ボランティアセンター立上げ運営訓練の実施
  - ・ 災害時要配慮者支援事業 (防災支え合いマップ更新支援)

### □ 共同募金事業

- ・ 稲穂会 ・ 希望の旅 ・ 福祉教育推進事業
- ・ 生活支援事業 ・ ふれあい広場 等



# だれでもランチ会



快晴の中、3月22日(金)に、みんなの広場アスポで「宿題会&だれでもランチ会」を行いました。これは孤食を防ぎ、食を通して地域の大人と交流できる居場所を提供することを目的とした会です。ランチ会の準備では朝から調理ボランティア10名がカレー作りをしてくださいました。小学生から中学生を含むボランティアは、手際よく和気あいあいと調理を進めて、1時間半ほどでいい香りが広がるカレーができあがりました。

予定開始時間よりも、早めに集まった多くの子どもたちは「肉がたくさん入っていてうまい!」「カレーがトロっとしていて食べやすい」など感想を聞かせてくれました。中には、おかわりをする子どもさんもおり、アスポいっぱいカレーの香りと、子どもたちの笑顔が広がっていました。宿題会も合わせて行った今回のイベント。子どもだけでなく、村内のボランティアや、大人の方にも気楽に立ち寄ってもらえる居場所の一つとして提案していきたいと改めて感じています。



翌週3月29日(金)には福祉センターで、伊久間つなぐ会の皆さんと高校生ボランティアに協力して頂き、第一児童クラブ、第二児童クラブ、放課後デイのおよそ80人にカレーを振舞いました。



ボランティアの皆さんのおかげで、両日ともにたくさんの笑顔に出会えました。本当にありがとうございました。

2/17(土)

## 「地域で子どもを支える学習会」を開催しました

地域で子どもを支えていくために、地域の大人は何かできるのか考える機会にしたいという思いから、初めて学習会を企画し、民生児童委員、教育関係者、ボランティアなど29名の方にご参加いただきました。

第一部では、南信教育事務所飯田事務所スクールソーシャルワーカーの矢澤朗子氏より、子ども支援の現場について講演いただき、第二部では、地域で子ども支

### おたすけ隊 たかぎレンジャー 活躍中

3月11日に生活支援事業おたすけ隊たかぎレンジャー協力会員の交流会を行い、会員10名が参加されました。

支援の様子など情報交換が行われ、「利用者は生活の中でどんなことに困っているのか」、「困りごとに対してどのようにしたら支援の輪が広がるのか」等の意見交換が行われました。

参加された協力者からは、「協力には大変なこともあるが、利用

援に携わる方々より実践報告をお聴きし、現状への理解を深めました。

「継続して学習会を開催して欲しい」「地域の子どものために、自分は何ができるだろうかと考えさせられる時間でした。」などの感想をいただき、出席者の皆様の関心の高さが伝わる学習会となりました。



「おかげ様」と喜んでもらえたり、つながりを実感でき嬉しく思う。ぜひ、おたすけ隊の良さを広げてほしい」と話されました。

令和6年度も地域で支え合える生活支援を行っていきます。



たかぎボランティア・地域活動情報誌

# さくみち



第101号

令和6年4月発行

編集・発行

喬木村社会福祉協議会

ボランティアセンター

Tel33-5520 fax33-5330



「みんなで作って楽しかったですね」

## 折り紙教室 開催しました。 「ひな飾りを作ろう！」

令和6年3月18日

住民から季節を感じる「折り紙」を作りたいと声が寄せられ、ボラ連役員の木下美幸さんが講師となって「折り紙教室」を開催しました。12名の参加があり、折り方を教え合いながら楽しく製作することができました。完成後にはボランティアさんが作ったケーキでお茶会をしました。今後も季節の企画を計画していきます。



「ここはどうやるのかな」一緒に作りました。

参加者それぞれ個性的な作品が出来上がりました。



地域の方からお借りした雛人形をボランティアセンターで飾りました。

### 災害ボランティア活動 報告会のお知らせ

日時: 令和6年5月10日(金)  
18時30分~

場所: みんなの広場アスポ  
スタジオ

内容: 能登町災害ボランティア  
活動報告(4月22日~24日)

参加申し込みは不要です。  
皆様のご参加をお願い致します。

【お問合せ】

喬木村社会福祉協議会  
災害ボランティア係

担当: 福澤一成

私のつぶやき  
町さくらんぼの会 北澤光昭  
会員の皆様に懇願され、二年前にいきなり会長にと言われ、お年寄りのために役に立ちたいと思ひ受けました。約三十名の会員大半が女性です。戦後の食糧難や女性蔑視の中、苦勞して生きてきたとは思えない身だしなみ、思いやりに若さを感じました。  
ボランティアのMさん、Gさんのときばきとした働き方にも感動しました。高齢会員の女性を見ると、亡き母を思い出します。自分は食べないで粗末な物でも子供に食べさせてくれたやさしい母の面影を思うと今でも涙が出ます。今は会員の皆様から教えられ勉強になる毎日です。又社協の皆様も支援も大きな支えです。私も会員の皆様と一日を過ごすのを楽しみにしている今日この頃です。



令和5年度共同募金「安心・安全なまちづくり支援」公募配分事業が決定されました

令和5年度に申請した氏乗区が決定し、4月17日に目録の贈呈式が行われます。共同募金からの配分金により「地域の安心・安全の暮らしを住民とともにつくる活動の支援」として令和6年度実施されます。

団体名：氏乗区 事業名：防災物品整備事業
購入備品：AED 配分金額：200,000



ジャージのボタンタッチをしませんか？

ボランティアセンターでは、卒業により使わなくなった喬木中のジャージを、必要なご家庭に再利用してもらおう活動をしています。ご家庭にある使わなくなった喬木中指定の上ジャージや、紺のハーフパンツを募集しております。ボランティアセンターまで、お持ちください。(お預かりするのは、家庭又はクリーニング店で洗濯済みのもの、大きなほつれなどのない状態の良いものとさせていただきます)皆さんの協力をよろしくお願いいたします。



先輩から後輩へ

令和5年度1個から参加できるボランティア活動

いつも収集ボランティアに協力いただきありがとうございます。皆さんの協力により、ペットボトルキャップ404kg、使用済み切って0.5kgが集まりました。ペットボトルキャップは、「世界の子どもにフクチンを日本委員会」に寄付させていただきました。約121人分のフクチンとなりました。使用済み切手は、日本国際ボランティアセンターにて、紛争で学校に行けなかった子どもたちの教材・学用品となります。引き続き、ペットボトルキャップ、使用済み切手、書き損じはがきの収集にご協力お願いします。



お問い合わせ:ボランティアセンター(平日:8:15~17:15)電話0265-33-5520

Table with 4 columns: Month (e.g., 4月の予定), Event Name (e.g., 結婚相談), Date and Time (e.g., 20日(土) 19:30~20:30), and Location (e.g., 福祉センター談話室(予約制)).

職員のひとりごと

この春、娘が結婚式をすることになりました。3年前に入籍はしましたが、当時のご時世で結婚式はできず、3年経った今年やっと実現します。披露宴で流すムービーを作るため、生まれた時からのアルバムを見たい、と娘から話があり久しぶりにアルバムを出す機会がありました。夫と私と娘でアルバムを囲み、娘の成長の記録である懐かしい写真を見ながら時間を忘れて思い出話をしました。写真の一枚一枚からたくさんのエピソードが思い出され、「こんな時もあったね」と隣で笑っている娘を見ているとこみあげてくるものがありました。もうすぐ結婚式当日を迎えます。娘の晴れ姿も楽しみです。親として、娘家族の幸せを願いながら祝福してあげたいと思います。(F.S)

ご意見・ご要望をお寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会

電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619

Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

